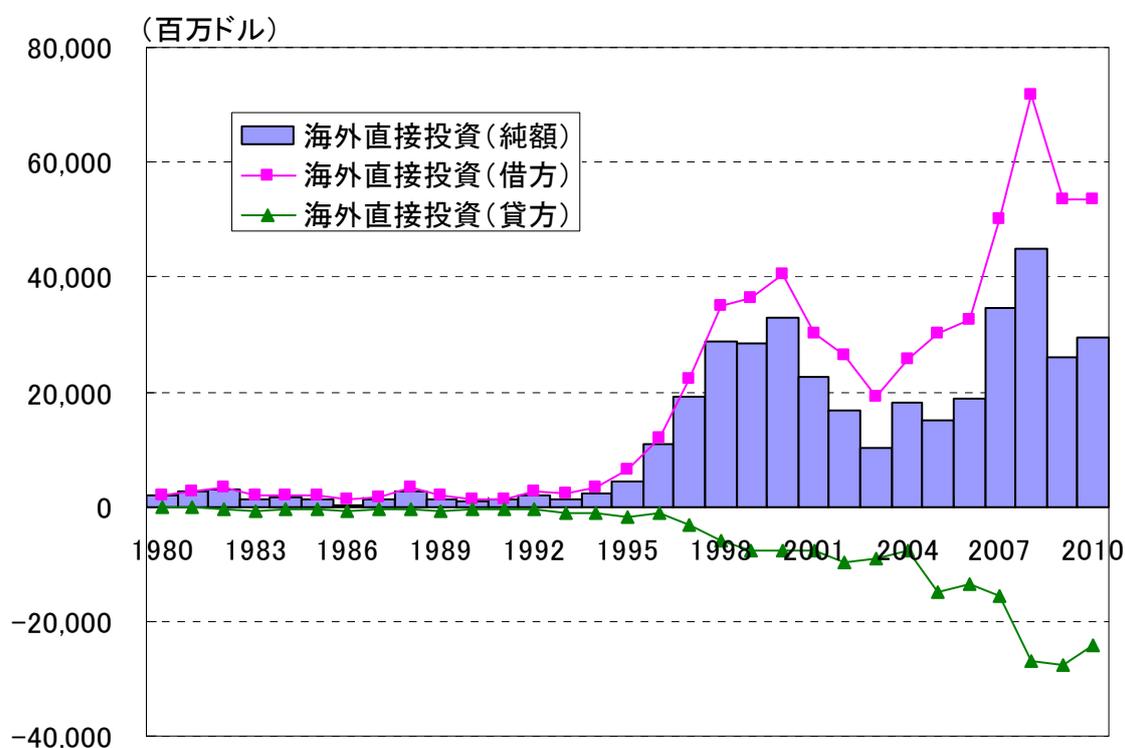


## 第4章 外国直接投資受入動向

### 1. 外国直接投資受入動向

外国資本によるブラジルへの直接投資は、1980年代前半からの「失われた10年」時代までは低調な水準での伸縮を繰り返してきた。1990年代に至り、内資による輸入代替工業促進から外国投資の受け入れへと舵を切ったことに加え、1994年のいわゆる「リアルプラン」による経済の安定化を果たして以降、順調に金額を伸ばしてきている。ルーラ政権発足直後の2003年前後にも、左派政党出身の同大統領による経済運営への不信感から、直接投資額に一時的な退潮がみられたが、ここ数年は再び高い水準を維持している。

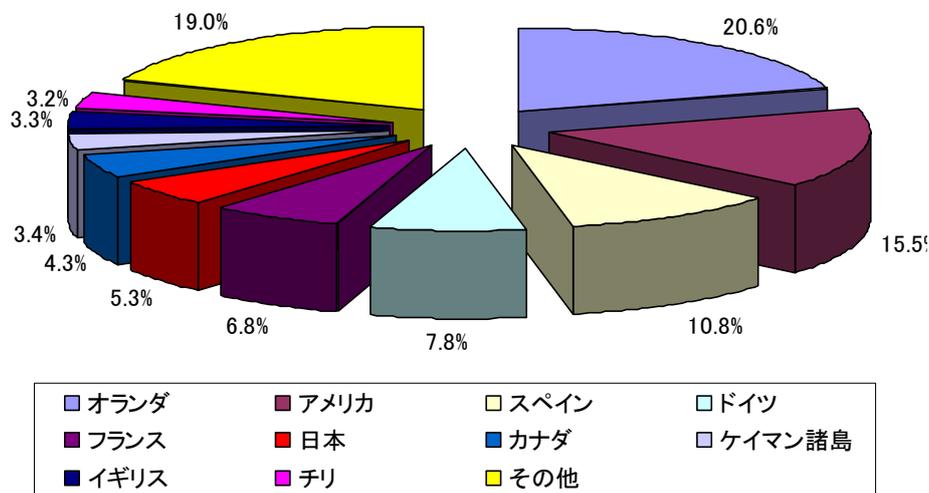
図表 4-1 外国資本による対ブラジル直接投資の推移



(出所：ブラジル中央銀行)

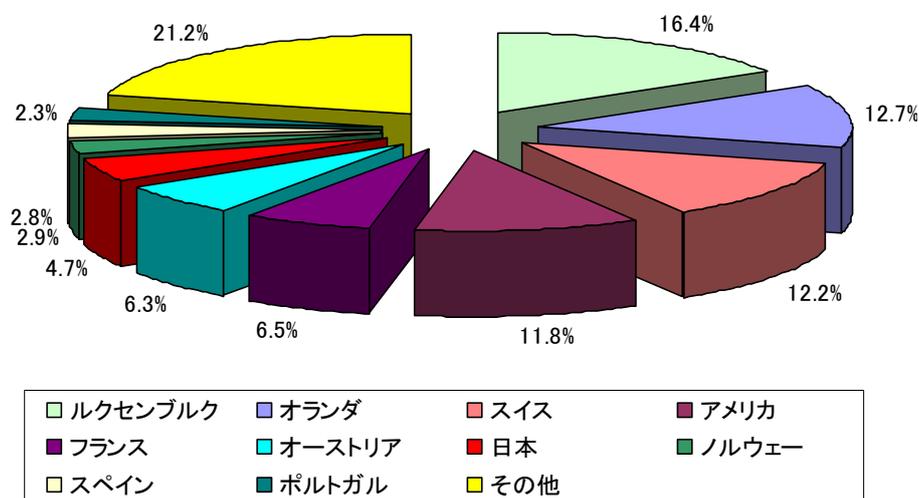
国別の投資額で見ると、欧米諸国が例年ランキングの上位に連なっている。日本も2009年、2010年とも上位にランキングしている。

図表 4-2 対ブラジルの直接投資額の国別ランキング  
(equity capital への投資、2009 年、総額 31,679 百万ドル)



(出所：ブラジル中央銀行)

図表 4-3 対ブラジルの直接投資額の国別ランキング  
(equity capital への投資、2010 年、総額 52,607 百万ドル)



(出所：ブラジル中央銀行)

分野別では、製造業向けの投資が 4 割超を占め、09 年は冶金、10 年は化学品がそれぞれ高い割合を占めた。製造業以外では、資源関連の業種や、金融・小売などへの投資額が多い。一方、農林業向けの投資は、直近ではあまり多くない。

図表 4-4 対ブラジル直接投資の分野別構成

(金額は百万ドル、構成比は%)

分野	2009年		2010年	
	金額	構成比	金額	構成比
<b>第一次産業</b>	<b>4 597</b>	<b>14.5</b>	<b>18 158</b>	<b>34.5</b>
石油・天然ガス	2 656	8.4	9 922	18.9
金属資源	1 303	4.1	6 672	12.7
農林業	420	1.3	652	1.2
その他第一次産業	218	0.7	913	1.7
<b>製造業</b>	<b>13 481</b>	<b>42.6</b>	<b>19 346</b>	<b>36.8</b>
化学品	1 557	4.9	7 411	14.1
冶金	3 754	11.8	3 527	6.7
石炭・石油製品、バイオ燃料	1 344	4.2	2 278	4.3
非金属資源製品	225	0.7	1 207	2.3
食品	451	1.4	1 101	2.1
自動車エンジン製造組立	2 163	6.8	456	0.9
その他製造業	3 987	12.6	3 367	6.4
<b>サービス業</b>	<b>13 601</b>	<b>42.9</b>	<b>15 103</b>	<b>28.7</b>
商業（自動車を除く）	2 326	7.3	2 515	4.8
金融	2 891	9.1	1 818	3.5
電力・ガス	970	3.1	1 135	2.2
不動産	593	1.9	1 117	2.1
非金融持株会社	389	1.2	865	1.6
交通	511	1.6	854	1.6
建設	717	2.3	709	1.3
通信	310	1.0	693	1.3
IT サービス	858	2.7	589	1.1
保険、年金ファンド	1 320	4.2	228	0.4
その他サービス業	2 718	8.6	4 581	8.7
<b>合計</b>	<b>31 679</b>	<b>100.0</b>	<b>52 607</b>	<b>100.0</b>

(出所：ブラジル中央銀行)

### ひとくちメモ ③：外資系企業のブラジル市場におけるプレゼンスの高さ

ブラジル経済の特徴の一つとして外資系企業のプレゼンスの高さが挙げられる。

同国では、1950年代からの工業化政策において積極的な外資誘致政策が採用されており、外資系企業は民族系民間資本企業および政府系企業と並んでブラジルの産業構造の一角を形成していた。さらに、1995年に発足したカルドーゾ政権が国営企業の民営化などの改革を実施すると、外資系企業のブラジル進出が増加することになった。例えば、輸入・輸出に占める外国企業のシェアは、1995年には半分以下であったが、5年後の2000年には輸出シェア60.4%、輸入シェア56.6%に達した。またExame誌によれば、2009年の同国国内売上高上位20社に入る大企業のうちブラジル資本は政府系を含めて7社、残りはすべて外資系の民間企業が占めている（20社のリストは16章に掲載している）。

産業別にみると、たとえば自動車産業においては、同国の主要自動車メーカーのうち100%ブラジル資本である企業は「アグラレー」のみである。同社は主に農機具やトラックを生産する企業であり、ブラジルで乗用車を生産しているメーカーは軒並み外資系企業である。

また携帯電話の分野では、ブラジルの主要4キャリアのうち、スペイン系のヴィーヴォ、イタリア系のチン・セルラー、メキシコ系のクラークの3社は、いずれも外資系企業である。もうひとつのキャリアであるオーイを運営するテレマール社にもポルトガル系通信会社の資本が入っている。

## II. 対日直接投資受入動向

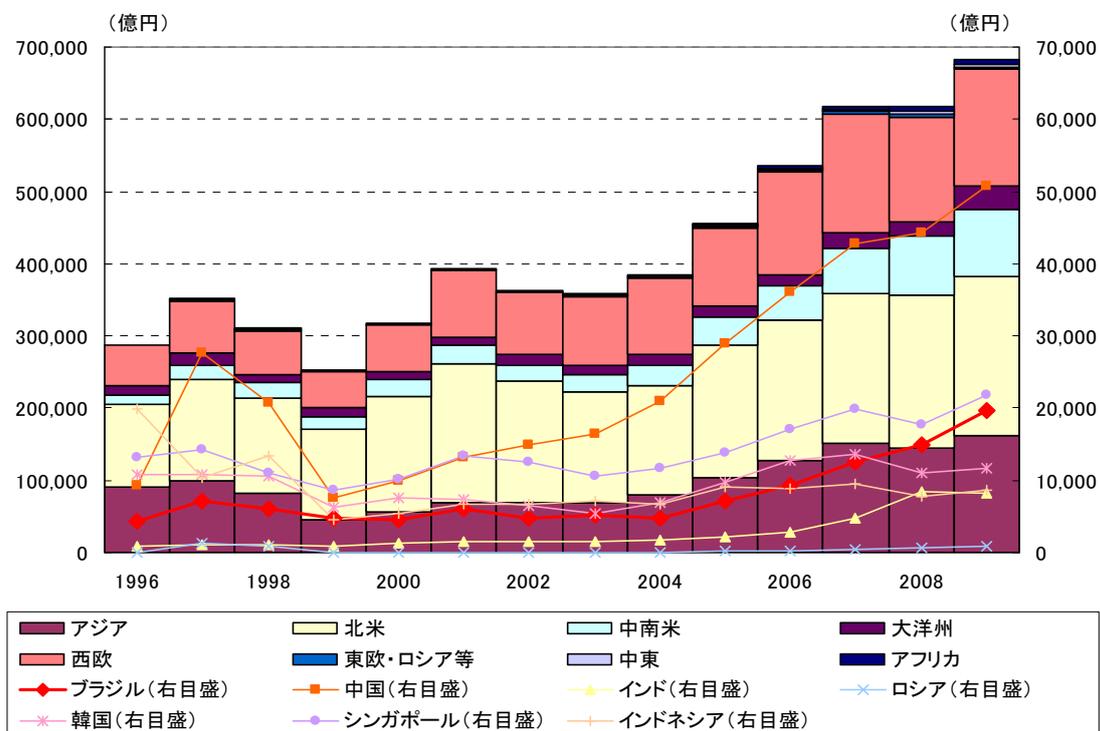
### II-1. これまでの日本の直接投資動向

日本からの移民受け入れ先であったブラジルには、日本企業も早くから進出してきた。1950年代のブラジル政府の高成長政策の下、イシブラス（造船）やウジミナス（製鉄）といった大型プロジェクトが実現した。

その後、1970年前後にはブラジル経済の好調を背景として日本企業の進出が相次いだものの、80年代以降のいわゆる「失われた10年」による厳しい経済情勢の中、撤退する日本企業も多数に上った。

90年代半ば以降は、輸入代替政策からの脱却に加え、安定的なマクロ経済運営を背景として、輸出指向型の産業や自動車産業の進出も増えたが、総じて日本企業は長らくバブル経済崩壊からの調整局面に入っており、日本からブラジルへの投資の基調は低位に推移した。近年になり、資源等の分野が牽引する形で、ブラジルへの投資は再び活発化している。直接投資残高で見ると、対中国には及ばないものの、額の伸びは顕著であり、対アジア主要新興国に比肩する規模となっている。

図表 4-5 日本の対外直接投資残高（大陸別構成と主要新興国）

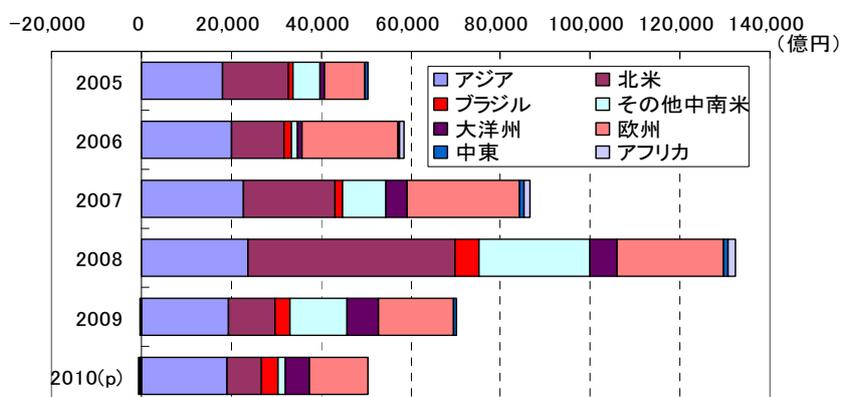


(出所：日本銀行)

## II-2. 直近の日本の直接投資動向

日本からみた投資先としての各国を比較すると、近年、純投資額ではアジア、欧州、北米向けが安定的に大きな割合を占め、ブラジル一国の占める割合は高くはない。2010年の速報値では、総額約4兆9,800億円の対外投資のうち、ブラジル向けは7.5%の3,745億円である。なお、ブラジル以外の「その他中南米」も統計上は大きな金額を占めるが、これは主にタックスヘイブンであるケイマン諸島向けの投資である。

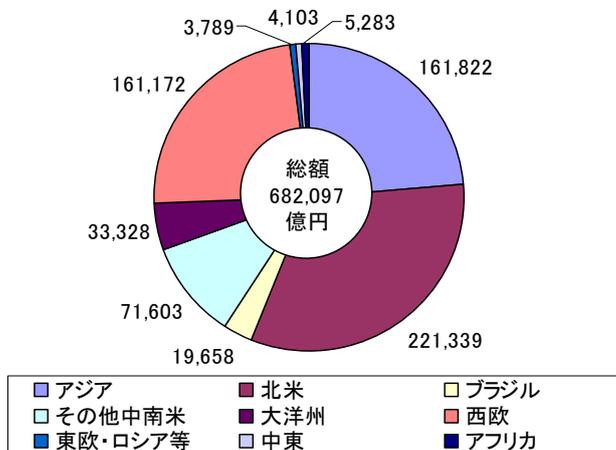
図表 4-6 地域別の直接投資額の推移（純額ベース、2010年は速報値）



(出所：日本銀行)

また、ストックで見ると、2009 年末時点での日本の対外直接投資残高（総額 68.2 兆円）のうち、ブラジル向けは約 2 兆円であり、全投資残高の約 2.9%である。

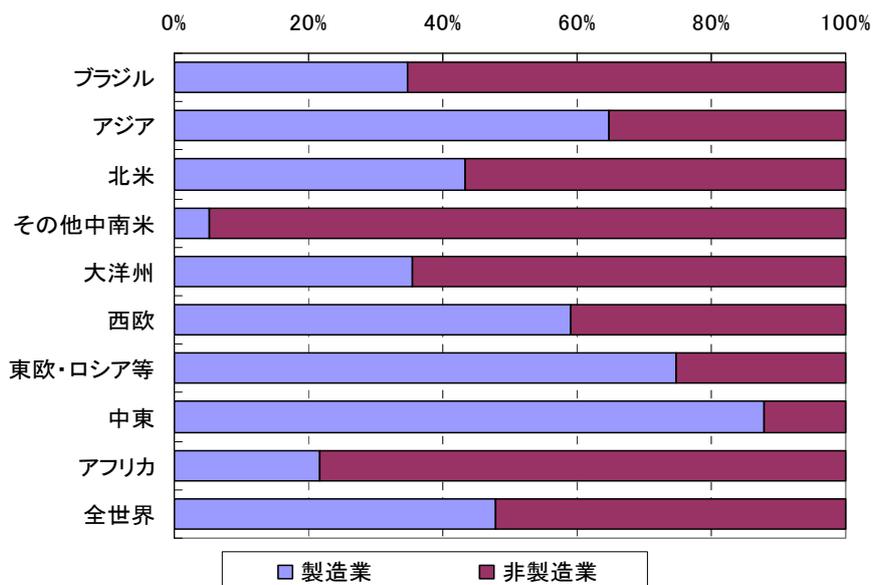
図表 4-7 日本の対外直接投資残高の地域別構成（2009 年末）



(出所：日本銀行)

なお、ブラジル向けの投資残高のうち、製造業の占める割合が低いことが特徴的である。ブラジルへの投資残高約 2 兆円のうち、製造業は 6,900 億円とほぼ 3 分の 1 にとどまっております。これはアジア向けの投資が主に製造業を対象としたものであることと比較すると対照的である。一般にブラジルに進出を果たしている日本企業において、ブラジルを製造拠点として捉える意識がこれまで相対的に低かったことをうかがわせる。

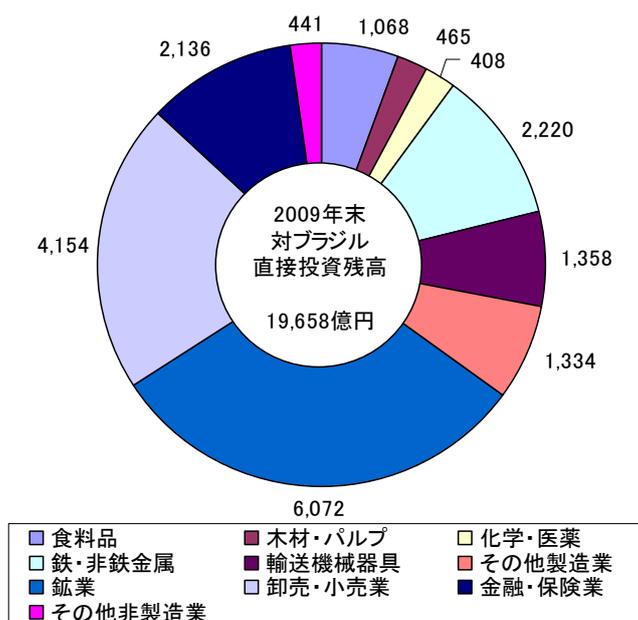
図表 4-8 日本の地域別直接投資残高のうち、製造業と非製造業が占める割合（2009 年末）



(出所：日本銀行)

対ブラジルの投資残高についてより詳細に業種の内訳をみると、「鉄・非鉄金属」（残高総額の 11.3%）、「鉱業」（同 30.9%）といった資源関連の業種が多くを占めていることがわかる。このほか、「卸売・小売業」（同 21.1%）、「金融・保険業」（同 10.9%）、「輸送機械器具」（同 6.9%）が高い割合を占める業種である。

図表 4-9 日本のブラジル向け直接投資残高の業種別内訳（2009 年末）



（出所：日本銀行）

2009 年 10 月 1 日現在、外務省が把握している限り少なくとも 324 の日系企業がブラジルで活動している。新興国の中では、中国の 29,876、インドの 1,049、ロシアの 406 などと比べると少ないが、中南米ではメキシコ（399）と並んで多い数である。

図表 4-10 ブラジルにおける日本企業数（再掲）

本邦企業数		現地法人日系企業数			
支店	駐在出張所	本邦企業 100%出資		合弁企業	日本人が海外に渡って興した会社
		本店	本店以外		
2	10	169	86	43	14 以上

（出所：外務省領事局政策課「海外在留邦人数調査統計」（平成 22 年速報版）

サンパウロ、リオデジャネイロ、アマゾンナスの各州に進出している日本企業は、各編の各章にて改めて掲げることとする。

#### ひとくちメモ ④：日本企業の地域別展開

日本企業は、すでに様々な州への進出を行っている。日本企業の進出が多い州の特徴を以下に挙げる。

図表 4-11 日本企業のブラジル進出の地域別展開（概念図）



（出所：(株)日本総合研究所作成）